

地水火風

牧野 恒一

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

本稿では、津波の圧倒的な破壊力を前にして、防災対策を今後どう進めるべきか考えてみたい。

「千差万別」

今回、高い津波が襲ったのは青森県から千葉県に至る太平洋沿岸地域だ。私が調査したのは宮城県、仙台市から亘理町にかけての地域だが、そこを見るだけでも、地形、町の形態、産業と住

宅の関わり、暮らしの最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

「津波被害」というと、すぐにリアス式海岸の特殊な地形と結びつけて考えがちになる。今回も、そういう地形のところに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

前者は、さらに、①町を高台に再建し、津波危険地域には施設は作らない（全面高台移転方式）

後者は、さらに、②町の主要施設は高台に造り、漁船の保管施設などを再建すれば良い、というわけにはいかない。

町は、単に元の町を再建すれば良い、というわけにはいかない。

前者は、さらに、③住宅や商店などは高台に造り、それ以外の産業施設等は海に面した平野部に造る（住宅高台移転方式）

後者は、さらに、④釜石や気仙沼のような広い市街地を全部高台に移すのは用地的に難しいので、「住宅高台移転方式」を基本に、できるだけ「主要施設高台移転方式」に近づけるよう努力する、というところではなからうか。

Cの観光地について、何とかなる」というわけ

津波対策を考える

の平坦な農業地帯と住宅地（農村集落又は新興住宅地）

直視すれば、単に元の町を再建すれば良い、というわけにはいかない。

「一律の解はない」

「全面高台移転方式」というのが管首相の考えのようにだ。安全の視点が、何を観光資源として、何とかなる」というわけ

「主要施設高台移転方式」で建設するくらいが精一杯だろう。

「結局住民が決めるしかない」

大震災が起る前から、日本の経済は危機的な状況に一刻と近づいていた。今回の大震災で、破綻に一気に近づいたことは間違いないだろう。

1993年に発生した北海道南西沖地震で、津波により壊滅的な被害を受けた奥尻島では、その後の復興事業で大規模な津波対策が実施された。

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。

今回の東日本大震災の最大の教訓は、津波の破壊力の凄まじさと、制御不能になった原発の得体の知れない怖さとを、改めて浮き彫りにしたことだろう。どちらも、わかっているつもりでいたのに、実際に目の当たりにして、初めて身にしみて理解できた面がある。